

# 今年の11月でみの～れは10歳!!



みの～れ10歳記念事業実行委員会  
企画部【キャンペーン】  
メンバー 小田部 洋子さん

「みの～れは今年で10歳。大好きなみの～れを盛大にお祝いしたい」と語る小田部さん。

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ

No.58

ポカポカ陽気に誘われて散歩に出てみる。昨年はひっそりと咲いた桜の花も今年は今までは通りに艶やかに野山を桜色に染めて人々に元氣や勇氣を与えてくれた。百花繚乱のこの時期は新たな出発のとき。みの～れは今年の11月に10歳の誕生日を迎える。一人でも多くの方々と一緒に誕生日を祝いたいと昨年実行委員会を立ち上げ、全14の企画を進めている。そこで今回は企画部キャンペーンに属する羽鳥地区にお住いの小田部洋子さんを取材する。

## 自分を高める ことがみのできる のがみの～れ

小田部さんとみの～れの出会いのはみので誕主する1年前。羽鳥地区で生まれ育ち、結婚を機に水戸市に住んでいたが、14年前に家族で羽鳥地区に戻り、同級生の野手さん（みの～れ住民劇団「演劇ファミリーMYU」所属）と再会。それがみの～れのこけら落とし公演「田んぼの神様」の団員募集を知るきっかけとなり、小田部さんは母娘で参加した。「団員の中には同級生や同級生の子どももいて、楽しい時間を過ごすことができた。田んぼの神様が終わったあとにもみの～れ住民劇団「演劇ファミリーMYU」の団員として母娘で何度かステージに立ったが、娘は娘の進みたい道を行き、私は演技のほうではなく、裏方の道に進み照明の担当になった。照明担当になって6、7年になります」と小田部さんは話す。

「みの～れ支援隊『スタッフエツグ』に入り、プロの先生から照明操作の研修を受けたりもしました。照明操作は楽しくて自分に合っているなと思います。ステージに立っている出演者が少しでも輝かせたい、そう思いながらひとつひとつ明かりの作り方を台本に書き込みます。『ここに立ったらこの明かりを入れて、ここではこの色にして、ここはゆっくり』とか。明かりを作るのは本番の一週間くらい前で、それから照明操作の練習に入るので大変な面もあるが、自分の描いていたようにできたときは達成感に浸ることができます」と話してくれました。また、小田部さんはアピオス30歳記念事業とみの～れ10歳記念事業のコラボ企画「M・A キャンペーン楽隊」のメンバーのひとり。合言葉の『実行委員自ら楽しんじゃおう』をコンセプトにサンバのリズムで楽器を鳴らしながら、アピオス30歳記念事業とみの～れ10歳記念事業の宣伝をしている。「メンバーは随時募集しています。楽器が

出来なくても楽しんで出来ればそれでオッケー。マラカスやタンバリンなど手軽な楽器がたくさんあるので、気軽に参加してみてください。今演奏しているのはベートーベンの『第九』と『ハッピーバースデー』。夏のイベントに出演するときは『みの～れテーマソング』がプラスされる予定なので、演奏するのがとても楽しみです。また、アピオス30歳記念事業とみの～れ10歳記念事業それぞれのキャンペーンのメンバーがいるので、交流も出来て楽しい」と話す。小田部さんにとってみの～れは「行くとな元気になる場所。知り合いがたくさんいるので話をしただけでも活力になる。色々な意味で自分を高めることが出来る場所です」と話してくれました。

みの～れ10歳記念事業はたくさん企画がある。また実行委員としての参加は可能。敷居は決して高くない。みの～れは両手を広げて皆さんが飛び込んでくるのを待っています。

（藤田 佐知子）